

# 令和5年度事業計画

公益財団法人 静岡県消防協会

東日本大震災からすでに12年が経過したが、その後も、地震、火山噴火、台風、集中豪雨などさまざまな災害が相次いでいる。令和3年7月には、熱海市伊豆山地区の土砂災害で死者28名、住宅被害は全半壊64棟という被害が発生している。

また、令和4年9月には台風15号により県内に多くの被害が発生し、死者3名、住宅被害は全半壊約2,500棟、床上・床下浸水約9,700棟、停電や長期にわたる断水などライフラインの被害も甚大なものとなった。

本県では、台風等による風水害はもとより、南海トラフ巨大地震や富士山噴火等の大規模災害の発生が懸念され、地域防災力の重要性はますます増大している。

静岡県消防協会は、「消防防災の能力の強化、活性化等に関する事業を行い、もって災害防除と地域社会の健全な発展に寄与すること」（定款第3条）を目的に、平成25年4月1日に公益財団法人として再スタートした。

当協会では、消防団員の消防防災に関する技術の向上、消防防災に関する指導、研修、調査研究及び防火思想の普及啓発、消防団の組織強化等法人の目的を達成するため必要な事業を実施することとしている。

新型コロナウイルスにより、様々な活動に制限がかかる状況ではあるが、令和5年度においても当協会の役割を深く認識し、その目的を達成するため各種の公益目的事業を実施し、地域防災の要として欠くことができない存在である消防団及び消防団員の強化を推進していくこととする。

## 1 消防団員の消防防災に関する技術の向上及び教育訓練

### (1) インストラクター研修会の開催

操法大会の技術向上を主目的としていた教育訓練指導員制度を見直し、令和の時代に即した消防団に変革できるよう、次世代の消防団幹部を育成する制度を令和4年度に創設した。各支部から任命された59名のインストラクターに対し、年2回の研修会を開催する。

第1回 令和5年6月11日（日）静岡県消防学校

第2回 令和6年3月9日（土）静岡県消防学校

(2) 支部共催訓練、地震対策訓練に対する助成

支部が実施又は共催する、消防団員の消防防災に関する技術の向上に要する経費及び消防団活性化事業に要する経費に対し助成する。

(3) インストラクター制度に対する助成

研修会への参加等活動費用の一部を助成する。

(4) 消防団員指導員研修（現場指揮課程第10期）の実施

日本消防協会及び静岡県消防学校と連携し、消防団員指導員の養成を行う研修を実施する。

令和5年10月1日（日）静岡県消防学校

(5) 消防団員の教育訓練への助成

県消防学校が主催する消防団員に対する教育訓練について、図書、資機材等の経費を消防学校に助成する。

① 幹部教育 指揮幹部科 分団指揮課程（第9期）

令和5年12月10日（日）

② 専科教育 警防科（第18期）

令和5年11月26日（日）

③ 幹部教育 初級幹部科（第15期）

令和5年12月17日（日）

(6) 静岡県消防学校の女性消防団員教育訓練への参加

女性消防団員研修会（第6回）

令和5年7月9日（日）

(7) 消防大学校の教育訓練への参加・助成

消防団長科（第84期）1名（中部地区）

令和5年10月16日（月）～20日（金）

(8) 日本消防協会の特別研修への参加

① 第50回消防団幹部特別研修

副団長以上の階級にある者 1名（東部地区）

令和6年1月中旬予定

② 第 23 回消防団幹部候補中央特別研修

- ・男性の部 令和 6 年 2 月上旬予定 3 名（東部、中部、西部地区）
- ・女性の部 令和 6 年 2 月中旬予定 2 名（東部、中部地区）

(9) 全国女性消防操法大会への参加・助成

第 25 回全国女性消防操法大会に、静岡県代表として出場する富士宮市消防団に対して、援助金を交付する。

令和 5 年 10 月 21 日（土）東京臨海広域防災公園（東京都江東区）

## 2 消防防災に関する指導、研修及び調査研究

(1) 消防団長研修会の開催

消防団の団長を対象にした消防防災に関する特別研修を実施する。

令和 5 年 6 月 13 日（火）グランディエールブクトーカイ（静岡市）

(2) 女性消防団員研修会の開催

女性消防団員の災害対応能力の向上及び情報交換、相互の連携・強化を図ることを目的に、静岡県女性消防団員連絡協議会と共催で研修会を実施する。

令和 6 年 2 月 4 日（日）静岡県立大学短期大学部（予定）

(3) 災害対応・防災対策状況等視察の実施

大規模な災害発生における対応や日頃の防災対策について、情報収集や状況を把握するため、県外視察を行う。

令和 5 年 9 月 10 日（日）～11 日（月）（予定）

## 3 消防防災に関する思想の普及啓発

(1) 消防職団員意見発表会の開催

消防団員の団結と士気の高揚を図るとともに、一般の方々に消防団の意義を知っていただくため、消防職団員意見発表会を開催する。

令和 5 年 11 月 18 日（土）オークラアクトシティ浜松（浜松市）

(2) 準中型自動車免許等取得補助交付金要綱による補助

道路交通法の改正に伴い、準中型自動車免許が新設されるとともに、平成 29 年 3 月 12 日以降に取得した普通自動車免許で運転できる自動車の車両総重量は 3.5 トン未満とされた。これに伴い 3.5 トン以上の消防車両を有している消

防団において、消防車両を運転する消防団員の確保が課題となっている。このため、準中型自動車免許等の取得に係る公費助成制度が施行されている市町で、所持する運転免許で所属する分団の消防車両を運転できない団員を対象に、消防団員の準中型免許等の取得に対する補助を行う。令和5年度も、市町における公費助成制度の創設及び交付金制度の団員への周知を図り消防団員を支援していくとともに、新入団員確保対策として若者にアピールしていく。

1人当たりの補助率：3分の1

上限：8万円かつ市町の補助額

### (3) 全国女性消防団員活性化大会への参加

女性消防団員相互の情報交流を通じ、地域防災力の向上及び女性消防団員の育成・活性化を図るため、消防庁及び日本消防協会が主催する第28回全国女性消防団員活性化石川大会に、県内の女性消防団員等から参加者を募り参加する。

令和5年11月16日（木）

いしかわ総合スポーツセンター メインアリーナ（金沢市）

### (4) 防災推進国民大会2023への参加

防災に関する情報を発信し交流する場を提供するため、内閣府が主催する防災推進国民大会2023に消防団員の参加者を募る。

令和5年10月頃（未定）

### (5) 防火広報に対する助成

市町消防団が秋季・春季の火災予防運動実施に合わせて行う防火広報や模擬訓練実施に対し助成する。

秋の全国火災予防運動 令和5年11月9日（木）～15日（水）

春の全国火災予防運動 令和6年3月1日（金）～7日（木）

### (6) 消防団員確保や環境改善のための要望活動の実施

消防団員の確保や消防団が活動しやすい環境の整備促進を図るため、静岡県消防大会で決議された議案を要望書として取り纏め、消防庁、日本消防協会、県内選出国會議員、県、県議会、県議会各会派、市町、市町議会及び各種団体に対して要望活動を実施する。また、消防団応援条例及び消防団協力

事業所表示制度について、様々な機会をとらえて制度のPRを行うとともに、制度の一層の充実改善について関係方面に働きかける。

令和2年度に消防団員確保対策事業として作成したテレビCMについては、令和5年度もテレビ放映等を行い、消防団の認知度を高めていく。

#### (7) 消防車両等交付事務事業

日本消防協会は、消防団員等福祉共済の福祉増進事業（消防資機材交付事業）として、防災活動車、防災広報車等の車両交付事業を実施しているので、円滑に交付を受けられるよう事務を行う。

#### (8) 消防制服整備

日本消防協会が実施する女性消防団員制服交付事業により女性消防団員が円滑に制服を交付されるよう事務を行う。また、総裁及びその代理として各種行事に参加する県職員に対して、制服を貸与する。

#### (9) 各種広報活動の実施・協力

ホームページでの消防団活動のPR、消防関係機関誌やラジオ番組等での消防団及び団員の活動紹介、日本消防協会が作成する機関誌「日本消防」への協力、防火ポスターの配布等消防団・団員のPR及び防火思想の普及高揚を図る。

#### (10) 静岡県女性消防団員連絡協議会の運営・助成

静岡県女性消防団員連絡協議会が円滑に運営するよう事務を行うとともに、女性消防団員の消防技術の向上及び教育訓練のために実施する研修等に要する経費に対し助成する。

### 4 消防団、消防団員及び消防功労者に対する功労表彰

#### (1) 静岡県消防大会の開催

消防協会役員及び消防団長として功労のあった者に対し感謝状を授与するとともに、消防団員を多く雇用し又は消防団活動に理解と協力が顕著な事業所を表彰する。

令和5年11月18日（土）オークラアクトシティ浜松（浜松市）

#### (2) 静岡県消防協会定例表彰

消防活動等に功績があった消防団及び消防団員に対する表彰並びに永年勤

続（25年以上）団員の家族に対する感謝状を贈呈する。

令和6年1月1日（月）～14日（日） 35市町

(3) 日本消防協会による表彰事務

日本消防協会表彰基準に基づき優良消防団（団員）等を選考し、日本消防協会へ上申する事務を行う。

令和6年3月8日（金）

第76回日本消防協会定例表彰式 ニッショーホール（ヤクルト本社ビル）

## 5 消防殉職者及び負傷した消防団員等に対する弔意救済

(1) 弔意救済事業

公務災害を受けた消防団員に対して賞じゅつ金や休業者見舞金を交付するとともに、職務を遂行して自宅の類焼または焼失等を防止できなかった団員に対して罹災者見舞金を交付する。また、消防殉職者遺族に対しては7回忌まで命日供物料を給付する。

(2) 全国消防殉職者慰霊祭への参加

県内の消防殉職者のご遺族とともに、全国消防殉職者慰霊祭に参加する。

令和5年9月14日（木）

第42回全国消防殉職者慰霊祭 ニッショーホール（ヤクルト本社ビル）

(3) 消防育英会事業

（公財）消防育英会が実施する奨学金制度に基づき、消防団員が殉職又は公務上身体に障害が残った場合等に、殉職者等の子弟に対し奨学金を交付を行う。

## 6 消防団員の福利厚生等

(1) 福祉共済等事業

日本消防協会の福祉共済への加入及び給付金の請求・交付事務を行うとともに、福祉共済、消防個人年金制度の加入促進を図る。

(2) 健康維持・体力錬成の推進事務事業

消防団員の健康増進等を促進するため、日本消防協会の消防団員等福祉共

済による助成を受け、健康増進機器等を購入配布する事務を行う。

### (3) 消防団応援の店の普及啓発

市町が地元の消防団員を対象にサービスを提供する「消防団応援の店」の普及啓発に取り組むとともに、日本消防協会が取り組みを展開している「全国消防団応援の店」への登録を図る。

市町消防団応援の店 16市 667店舗（令和5年2月28日現在）

### (4) 消防団応援連盟事業のPR

県内の消防団員及びその同居の家族が、「ふじのくに消防団応援連盟」に参加している団体が運営する観光施設（消防団員サポート施設）を利用する際、入場料が半額になる制度で、様々な機会をとらえて、団員に対してPRを行う。

5団体7施設（令和5年2月28日現在）

### (5) 火災共済事業

全日本消防人共済会の火災共済事業の加入促進を支援する。

## 7 会議等

### (1) 県消防協会関係

- ① 評議員会 令和5年5月25日（木）
- ② 理事会 令和5年5月9日（火）、5月25日（木）  
8月3日（木）、12月上旬、令和6年3月中旬
- ③ 正副会長会議 令和5年4月25日（火）、7月13日（木）、11月、  
令和6年2月

### (2) 日本消防協会関係

- ① 理事会・評議員会・全日本消防人共済会等  
令和5年6月22日（木）（定時評議員会等）  
令和6年3月7日（木）（評議員会）  
令和6年3月8日（金）（第76回定例表彰式）
- ② 都道府県消防協会事務局長会議  
令和6年2月28日（水）

(3) 中部7県関係

中部7県消防協会長及び消防主管課長会議

令和5年11月頃 静岡県

(4) 静岡県関係

- ① 静岡県消防学校運営協議会
- ② 静岡県防災会議
- ③ 静岡県山岳遭難防止対策協議会
- ④ 静岡県幼少年女性防火委員会
- ⑤ 静岡県交通安全対策協議会
- ⑥ しずおか男女共同参画推進会議
- ⑦ ふじのくに安心地域支え合い体制づくり県民会議
- ⑧ 静岡県コミュニティづくり推進協議会